

音楽科学習指導案

指導者 徳永 雅也

- 1 日 時 平成20年9月 8日 (月)
- 2 学 年 第4学年 男子18名 女子17名 計35名
- 3 場 所 音楽室
- 4 題材名 音をえらんであわせよう
 - ・いろいろな音をさがしてみよう
 - ・いろいろな楽器を組み合わせしてみよう。
 - ・音のカーニバル

5 題材について

(1) 題材観

本題材は、学習指導要領A表現(4)イ「即興的に音を選んで表現し、いろいろな音の響きやその組み合わせを楽しむこと。」を受けて設定したものである。

「いろいろな音を探してみよう」では木や金属、竹など様々な音素材による個々の楽器の響きの多様性に気づき、音色や響きを感じとって楽しみながら音楽を作る。「パターンミュージック」では、音を重ねたり組み合わせたりすることで音素材の可能性をより引き出し音色の変化や音を音楽へと構造化させていく学習を行う。「音のカーニバル」では、音の組み合わせをグループで考え協力して演奏していく活動を行う。これらの活動を通して、一つの楽器や音の素材から何種類もの音が出せることに気付かせ、楽器の素材や音色の組み合わせを考えながら表現できる力を育てていきたい。

(2) 児童観

本学級の児童は、3年時に「おかしなすきなまほう使い」で、まほうをかけるイメージに合った音を探して表現の工夫をする活動をすすめてきた。個が自由にイメージをしていたものを楽器で表現したのに対して、本題材では、音素材や楽器の組み合わせに着目しグループで話し合わせながら「音のカーニバル」を完成させていく。感じたことをすぐにワークシートに書いたり発表できなかつたりする児童は数名いる。

(3) 指導観

指導にあたっては、児童一人一人が音楽に対する感性を働かせながら、錬磨できるように進めていきたい。まず、学習を進めるにあたりいろいろな楽器を用意して素材や音色に対して興味をもてるようにしておく。「いろいろな音を探してみよう。」では、奏法と音色に焦点をしばって考えさせていくために、一度にたくさんの楽器を提示しないで、一つの楽器からいろいろな音色を出させる活動を仕組んでいく。そして、いろいろな奏法でいくつもの音色が出せることを体感させていく。「いろいろな楽器を組み合わせしてみよう。」の活動においては、木・鉄・皮・竹・紙など素材ごとに楽器を組み合わせさせて感じとったことを話しあったり、ワークシートに書いたりして音色や響きの違いを感じとらせていく。また、「感じとった言葉集」を掲示することで感じとったことがなかなか書けない児童へのヒントとしていく。「音のカーニバル」では、曲の雰囲気を考えさせて、音色や組み合わせによる効果を事前にグループで話し合わせる活動を行わせ音に対する追究ができるように進めていく。

工夫点 世界の楽器や身近なものに目を向けさせ、素材ごとの組み合わせによってどのような音色がするのを感じとらせる場面を仕組んでいくとともに、4月初めからの音楽の学習で児童が発表した「感じとった言葉集」を掲示することにより、感じとった言葉がさらに豊かで増えていくように進める。

例 木の楽器はポッポッと温かくまるい感じがします。
竹の楽器は夏の暑さを涼しくしてくれるような感じがします。

6 題材のねらいと評価規準

○音色や響きの違いを感じとって音の出し方や組み合わせを工夫している。

	ね ら い	評 価 規 準
関心・意欲・態度	○進んで楽器の音色に興味や関心を持ってたいたり音色を聴いたりして意欲を高める。	○身の回りのいろいろな音の響きに注目し、音楽作りに生かそうとしている。 ○友達と協力して音作りを進めようとしている。
音楽的な感受や表現の工夫	○楽器の素材や音色の響きの特徴を感じ取るとともに、それらを生かした音作りの仕方を工夫する。	○様々な音の素材による響きの違いに気付いている。
表現の技能	○音の組み合わせを工夫し即興的に音を選んで表現し音の響きや組み合わせを楽しむなど工夫して音楽を作る。	○様々なリズム・パターンやリズム伴奏などを工夫して表現している。 ○いろいろな音素材を使って音の響きやその組み合わせを工夫し音楽表現を楽しんでいる。

7 学習計画（全4時間）

次	教 材	学習内容（時）	評 価				評価方法	
			関	感	技	鑑		
一	いろいろな音を集めてみよう。	・一つ一つの楽器のいろいろなたたき方から何種類もの音色を聴き取る。	○				・身の回りのいろいろな音の響きに注目し、音楽作りに生かそうとしている。	演奏表現 表情 発言 カード 発表
二	いろいろな音を組み合わせよう。 (本時)	・材質による音色の特徴に気が付きながら、いろいろな音を組み合わせせてみる。		○			・様々な音の素材による響きの違いに気づいている。	行動観察 発表 演奏表現
三	音のカーニバル	・音色の組み合わせやたたき方を工夫して演奏する。			○		・楽器のたたき方を工夫して演奏する。	行動観察 発表 発表 演奏表現
		・発表して聴き合う。			○		・拍の流れののってリズム打ちをすることができる。	

8 本時のねらい

◎様々な音の素材による響きの違いを感じとろう。

	学 習 活 動	指導上の留意点と○評価規準
つかむ 8分	1 リズム列車をする。 2 既習曲「歌のにじ」を歌う。 3 本時のめあてをつかむ。	・歌う時のめあてを確認して意識させて歌うようにする。 ・姿勢や口のあけ方など努力している児童を賞賛して意欲を促す。 ・前時の楽器のたたき方によって音色がかわっていくことをふりかえらせる。
	いろいろな素材の楽器を組み合わせて音色を感じとってみよう。	
考える 深める 24分	4 楽器の素材ごとのグループで音色を聴きとったことを発表する。 木のグループ 温かい感じです。 丸い感じです。 竹のグループ 暑さを涼しくする感じです。 ささやけている感じです。 皮のグループ 遠くまで届く感じです 深く重い感じです。 金属のグループ 宇宙にいる感じです。 体が浮いている感じです。 紙のグループ にぶい感じです。 ドキッとさせる感じです	・素材ごとの音色の組み合わせについて気がついたことをワークシートに記入させる。 ・「感じとった言葉集」を掲示することで感じとった言葉を探すヒントになるようにする。 ○様々な音の素材による響きの違いに気付いている。(感・工) B: 組み合わせによる感じ方を書いたり発表したりしている。 A: 組み合わせによる感じ方を一項目につき二つ以上書いたり発表したりしている。 Cの児童への手だて 掲示している「感じとった言葉集」を参考にしたり、まわりのものや季節、自然の様子から考えさせたりするように助言する。
まとめ 13分	5 音のカーニバルを歌う。 6 本時のめあてをふりかえる。	・次時にはグループで発表してもらうことを予告する。
	竹・皮・金属・紙・木など感じかたがちがうけれど、素材ごとに組み合わせてたたくと感じがにているね。	

いろいろな音を組み合わせてみよう

4年()

そざい	組み合わせた感じ 感じたこと ○○な感じがします。	自分のお気にいり度(◎○△) なぜ気にいったのか (～な感じが～だから)など
竹		
紙		
金属		
皮		
木		

今日の学習で感じたこと・わかったことを書きましょう。